



貴方が

不田様

なものでね？
2

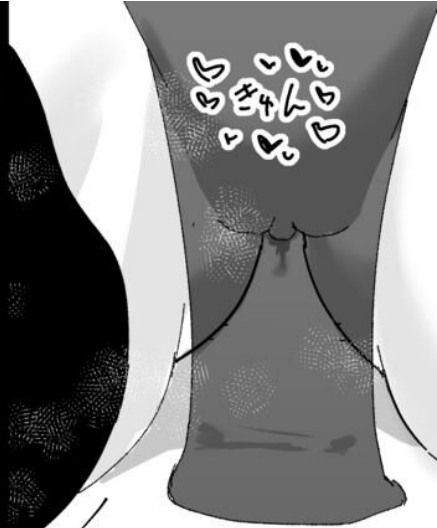
催眠内容

- ・神倉は糸繰の事を神と認識する
- ・神の言うことは絶対、どんなことも違和感を覚えない
- ・神の声は安心感をもたらし、子宮が熱くなる
- ・神の息吹は全身に快感をもたらす
- ・解除すると記憶は一時的に封印され、別の記憶としてすり替える。他言もしない
- ・催眠を解除しても深いところで催眠されているので毎晩神の声で自慰をするようになっている
- ・記憶が封印されていても身体は覚えており、開発が進めば進むほど普段の糸繰に対する感情が高まる
- ・完全解除すれば抑え込まれていた糸繰に対する感情や性欲が爆発し催眠をせずとも身体を許す

依然くびをかりかりし続けていた私の我儘はすでに限界を超え、今すぐにもおまんこをぐちゃぐちゃにしてほしいと言わんばかりに腰がへんへんこと浮いてくる

ドキドキ...

椅子の上で待つこと5分。
何があっても声はもちろん
動いてもいけないよと言われ
糸繰様は退室されました



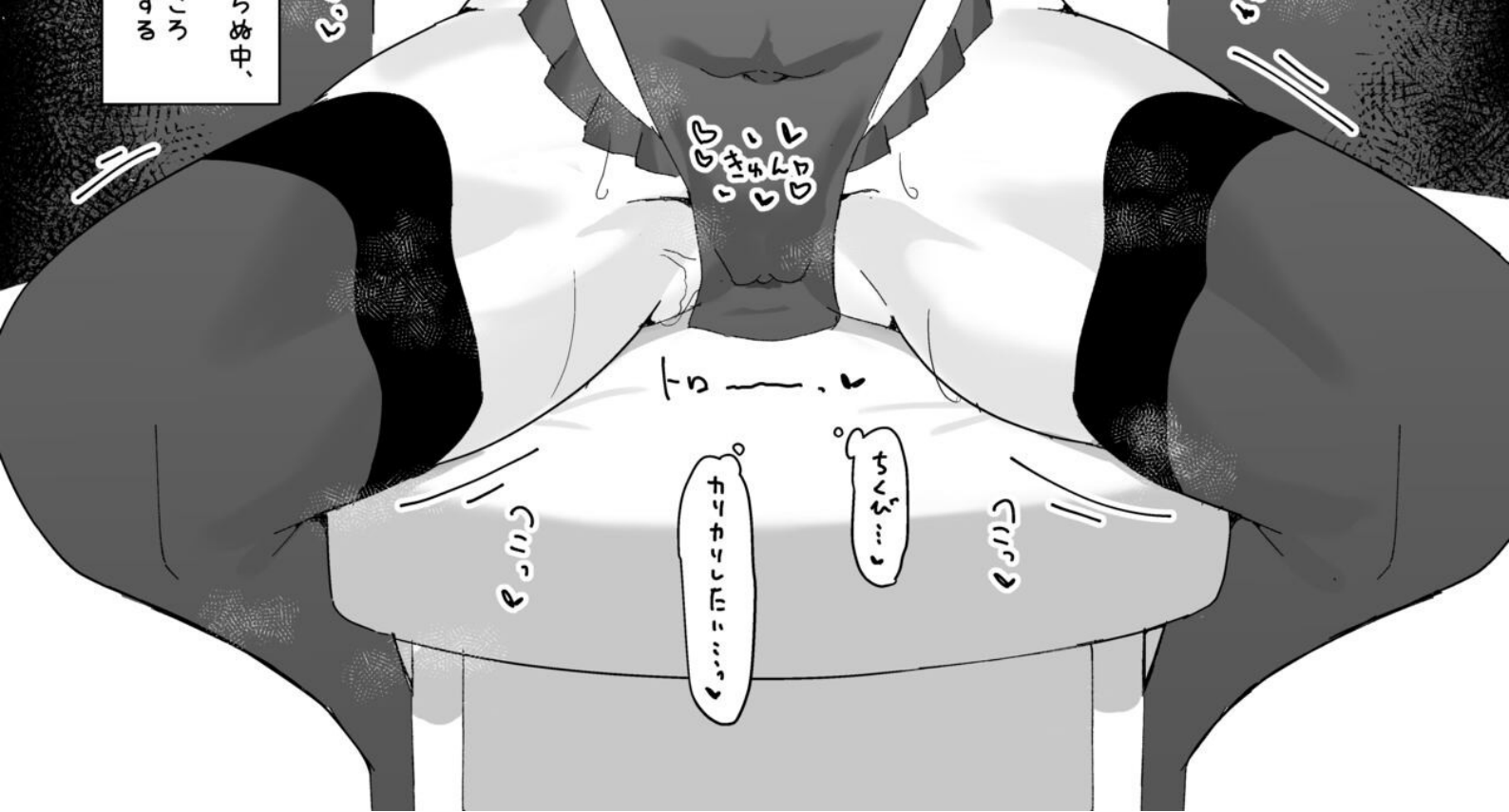
なにするんだろう……

はやく……



じわる……

まだ先程の興奮が冷めやらぬ中、
ちくびも触れずも
どかしさを耐えているところ
部屋のドアを開ける音がする



チキチキ……

ちくちく……

チキチキ……

チキチキ……

ト……

チキチキ……

チキチキ……



思わず出そうになった
言葉を飲み込む
視線の先には二人
系線様とサラ

えっ……？

サラ……？
うそ……



この教会で共に生活
しているシスターで
最近部屋を借りたと聞いた
昼間は同じ
キャンパスに通っている

系線様と部屋に入ってきた
彼女は目隠しをしており、
いつもと違う修道服に見え
もじもじと足と閉じている

もじ
もじ

もじ
もじ

ドキドキドキドキ

ねえ...
ソソソソソソ

さあ、どこだろうね

サウは系線様に手を惹かれ、私の座った椅子の前にあるベッドに二人で腰掛
耳元で何かを囁かれています

オナニーしていたさっきの私と同じよう自ら足を広げる系線様はしーつと指でジェスチャーを送り、いたずらっぽく笑います

いただいた御言葉を思い出し、ゴクリと喉を鳴らす

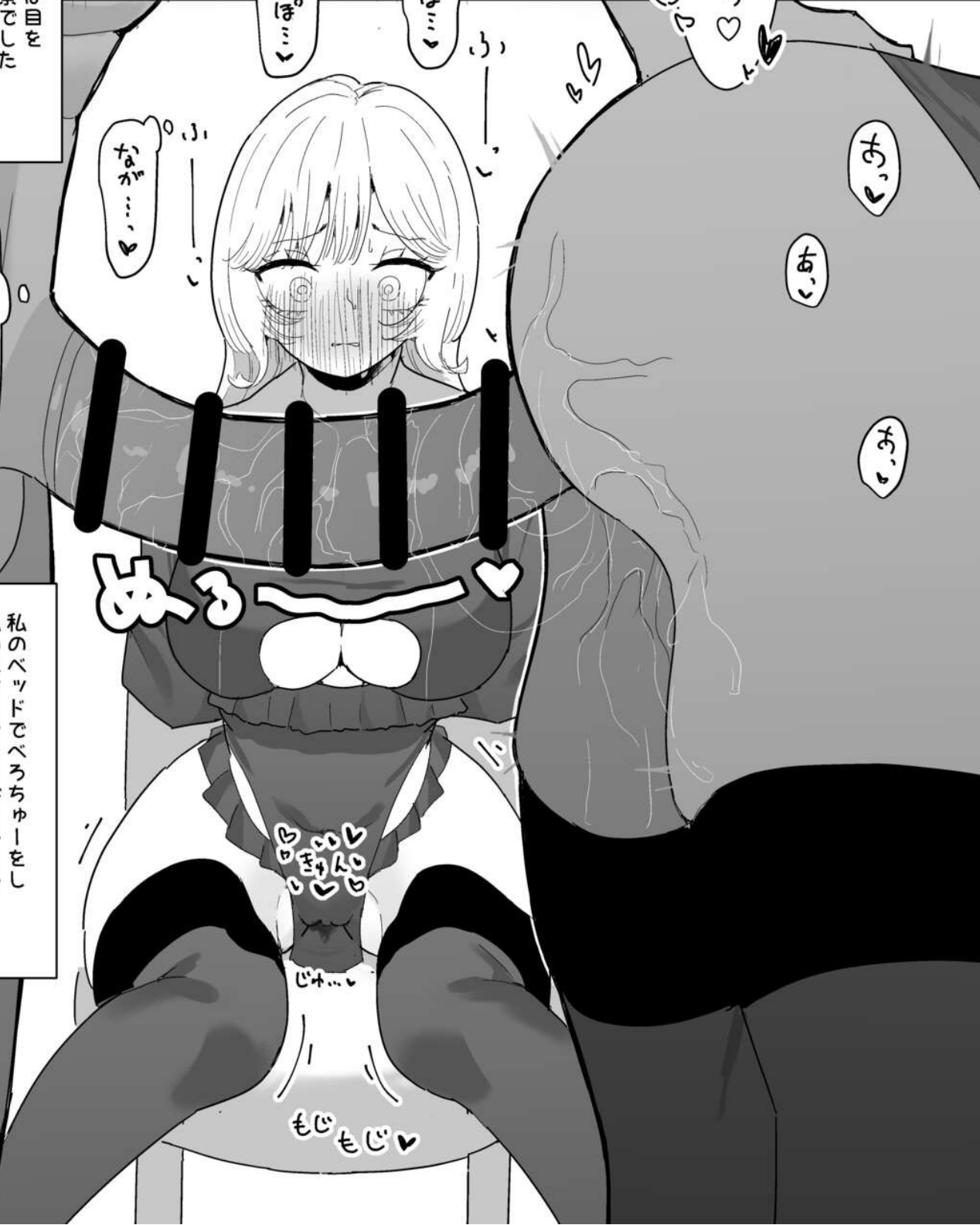




そこから目を見張る光景でした
系操様はサウと
えっちをし始めたのです

おま...
おま...
おま...

私のベッドでべろちゅーをし
私のベッドでちくびをかりかりし
私のベッドでおちんぽを唾え
私のベッドでまるで恋人のように
おまんこにおちんぽを挿入し
えっちをしました



もじもじ♡

ぬわわわ

サラは誰の
なんだっけ

ゆうくんっ♡ゆうくんのっ♡
ゆうくんのおんなっ♡

ぐわわわ

おっ♡
ゆうくんっ♡
そっっ♡だめっ♡

だめじゃないでしょ

すきっ♡すきっ♡
ちんぽすきっ♡すきっ♡

よく言えました

おっ♡おっ♡
またいくっ♡いんもんっ♡
ちんぽびびくっ♡
しきゅーっ♡いくっ♡

ぐわわわ

ぐわわわ

ひくっ♡
ひくっ♡

おっ♡

おっ♡

ぐわわわ

ぐわわわ



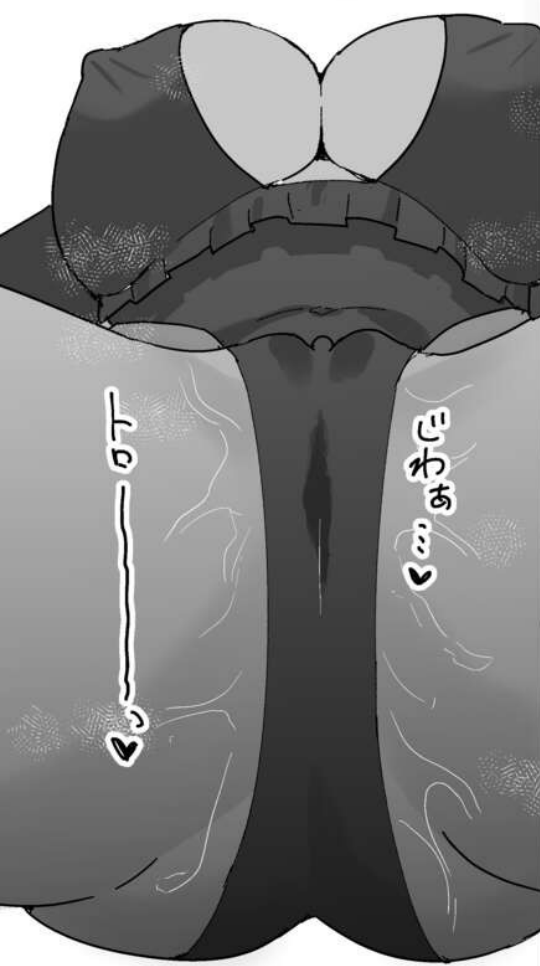


はー

すん……っ♡
またイってる……♡

はー

もう何度目の絶頂でしょう
夢中になって見ていた私は
3時間経っている事にも
自分の足元へ水たまりのよう
にできた愛液の存在にも
動けない中、腰がへへへこと
ひたすらに動いている事にも
気づきませんでした



じわあ

ト

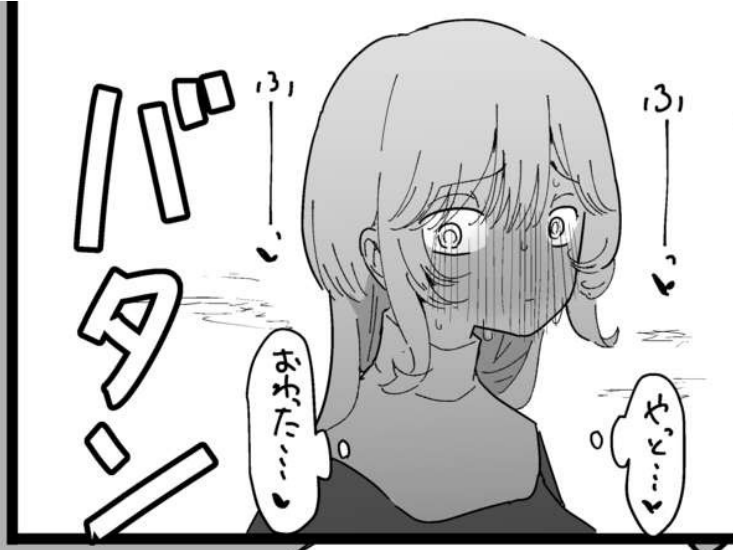


ど

ど

ど

ど



おわた……

や……

サラちゃん送ってくから
そう言ってる時間程えっちをし
ぐったりしたサラを抱え
糸線様は部屋を出ていきました



じゃあ少し待っててね

キ……



椅子に座っていても精子と愛液の匂いが
ツンと鼻を刺しぞくぞくと全身が震え
自然と足がベッドへ動いていました

あ……

ニオイが……

これが……

……

せ……



むわ……

シートには精子のたっぷり入ったゴムが
大量に残され、サラの愛液とで
びちゃびちゃになっています

ど……



におい……♡すじ……♡っ♡
これ……♡せし……♡
いとぐりさまの……♡おちんぼの……♡
どんなあじ……♡するのかな……♡



ちよ、ちよっとだけ……♡
あじ……♡たしかめるだけ……♡
サウ……おいしそうだったから……♡
おちんぼ……♡あじゆるだけ……♡

ドキドキ
ドキドキ

あ、あ

ちくび気持ちいい？

はっ♡はっ♡♡
きもち♡♡♡す……♡♡♡

むせ返るような匂いの立ち込めた
二人きりの私の部屋

系線様と友人であるシスターサラが
3時間程えっちを繰り返して
ぐちゃぐちゃになった私のベッド

あ、あ

その横に立ち、まだ頭の中に残る
二人の情事をおかずに
贅沢にもちくびを触って
いただいています



どう気持ちいいの？

ちくび…♡かりかりって
される…♡とっ♡

びりびりっ♡
ひろがっ…♡とっ…♡

こしっ♡へんへんっ♡…♡
しちゃいます…♡っ♡…♡

長時間の我慢したおまんこは
愛液でぐちゃぐちゃに濡れそぼち
ちくびを少しかりかりされただけで
伸縮を繰り返し、イキそつになります

サウが気持ちよくなっているのに
私はなにもせずじつと見ているだけ
そう命じた系線様は私が欲してやまない
長いおちんぼを彼女のおまんこに挿入し
まるで恋人のようにえっちをしていました

それをオナニーもせず我慢できた
私へのご褒美がこれなのです



おっ♡おっ♡だめっ♡
ちくびっ♡こしっ♡うっ♡

ちくび

こし

おっ♡

ちくび

こし

おっ♡

我慢しなくて良いよと
ちくびをつぼつぼと押し込み
思わず気持ちいい声が出てしまい
腰と浮き、くっくっくと動いてしまっ

つぼつぼっ♡かりかりっ♡
ちくびっ♡いじられっ♡
いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡

ちくび
きかん
きかん
きかん

おっ♡

じぶんごっ♡するまじっ♡
はやくっ♡いっ♡いっ♡おまんこっ♡
おまんこしまるっ♡いっ♡いっ♡いっ♡

ちくび

こし

おっ♡

ちくび

こし

おっ♡

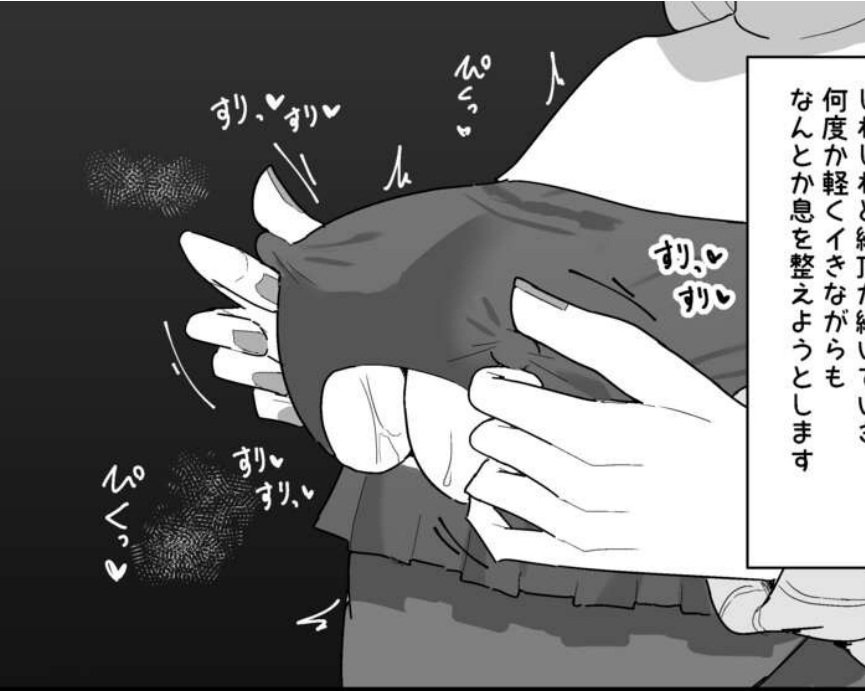
潰されたちくびから甘い電気が
走るように快感が全身を貫き
自分の身体じゃないみたいに
意思とは関係なくびくびくとほねる

あっ♡あっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡いっ♡
ちくびだけでっ♡おまんこっ♡
しまっ♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

おまんこからはおちんほを
受け入れるための愛液が
とめどなく溢れ出し
下腹部がっさそう
熱を帯びるのがわかる

ズンズンズン





息を整えようとするも
 余韻が残ったちくびとおまんこから
 じわじわと絶頂が続いていき
 何度が軽くイキながらも
 なんとか息を整えようとしてます



そこを抱きしめられながらのキス
 先程したちくびオナニーの褒美とは違う
 サラとしたような舌を絡ませる
 恋人がするような濃厚なべろちゅー

あっ♡
 キス……♡

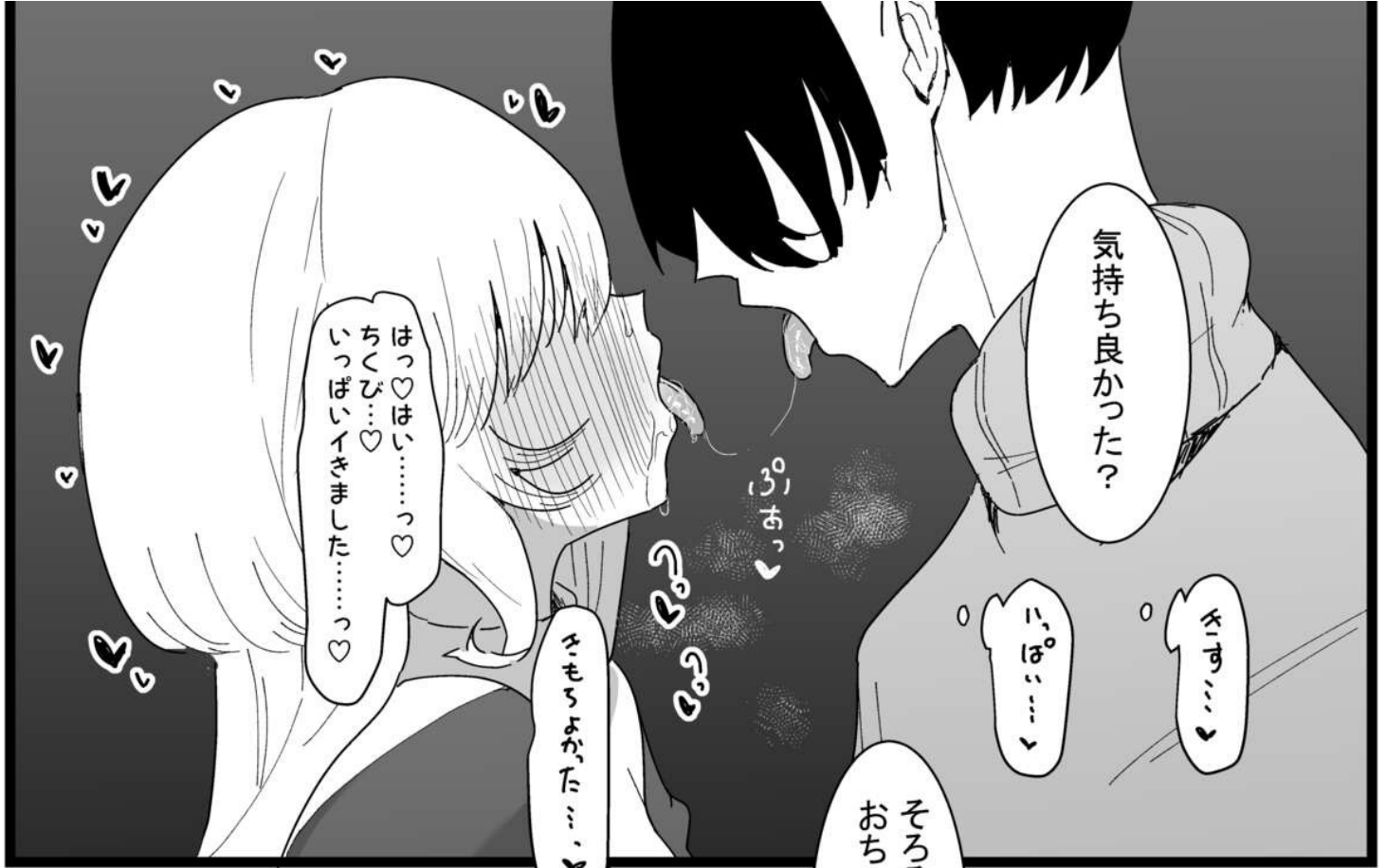
っ|| ちゅー♡
 すき♡
 もん♡

すり♡
 すり♡
 すり♡
 すり♡

れ……る♡

ちゅ♡
 ちゅ♡
 ちゅ♡
 ちゅ♡

キス♡



気持ち良かった？

はっ♡ほっ♡……♡
ちゅっ♡……♡
いっぱいイキました……♡

さっ……さっ……

はっ……♡

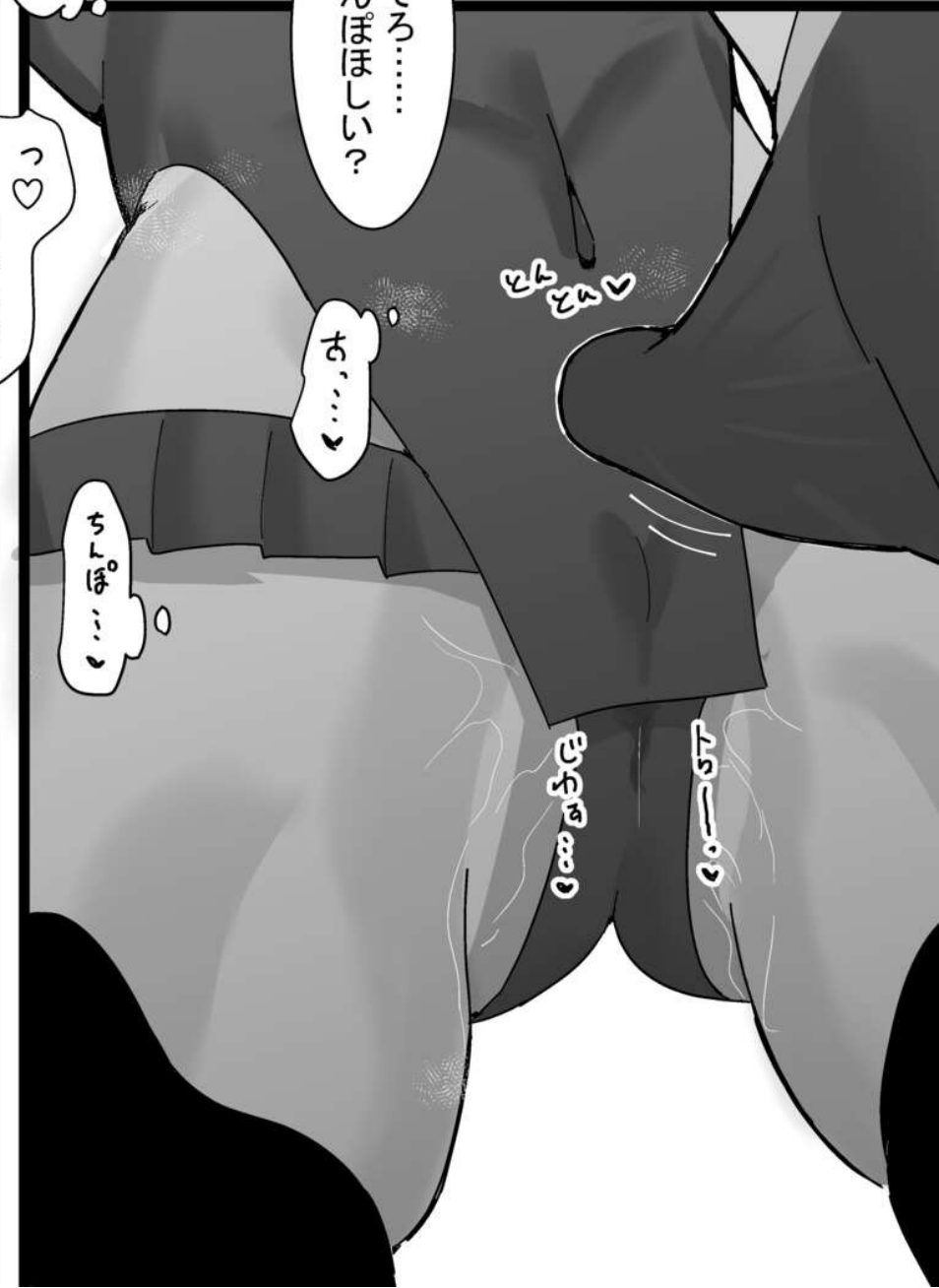
ちゅっ……♡

そろそろ……
おちんぽほしい？



はっ♡……♡
ちゅっ♡

はっ……♡



ちゅっ……♡

ちゅっ……♡

ちゅっ♡

ちゅっ……♡

ちゅっ……♡

はい、マツリちゃんが
欲しがってたんぽだよ

あ…♡

ちんぽ…♡

ちんぽ…♡

ちんぽ…♡

は…♡

は…♡

は…♡

わ…♡

わたしにも…♡

ちんぽ…♡

ちんぽ…♡

ちんぽ…♡

ちんぽ…♡

下着越しでもわかる大きさが
先程のサラとのえっちを思い出させ
そのおちんぽをこれから
味わえるという期待が
ますます興奮を駆り立てます

ドキドキ

ベッドに腰掛けた
系線様の前へかがみ込む
私に下着越しのおちんぽを
向けていただき
鼻孔を突く匂いを感じます

何を言われずとも下着越しのおちんぼへ
鼻をくっつけ、大きく息を吸う

……♡

すん♡
すん♡

すん♡……♡

すん♡……♡

す♡

サラとのえっちからまだ洗っていないそれは
蒸れた精子や愛液、様々な匂いが鼻を刺し
二度と忘れない記憶として
頭の中に残っていくのがわかります

ニオイ……♡

まだ……♡

ゴムの中のせーしと……♡
おなじにおい……♡
このおちんぼが私にも……♡
私のおまんこにも……♡

あ……♡

ひまん……♡

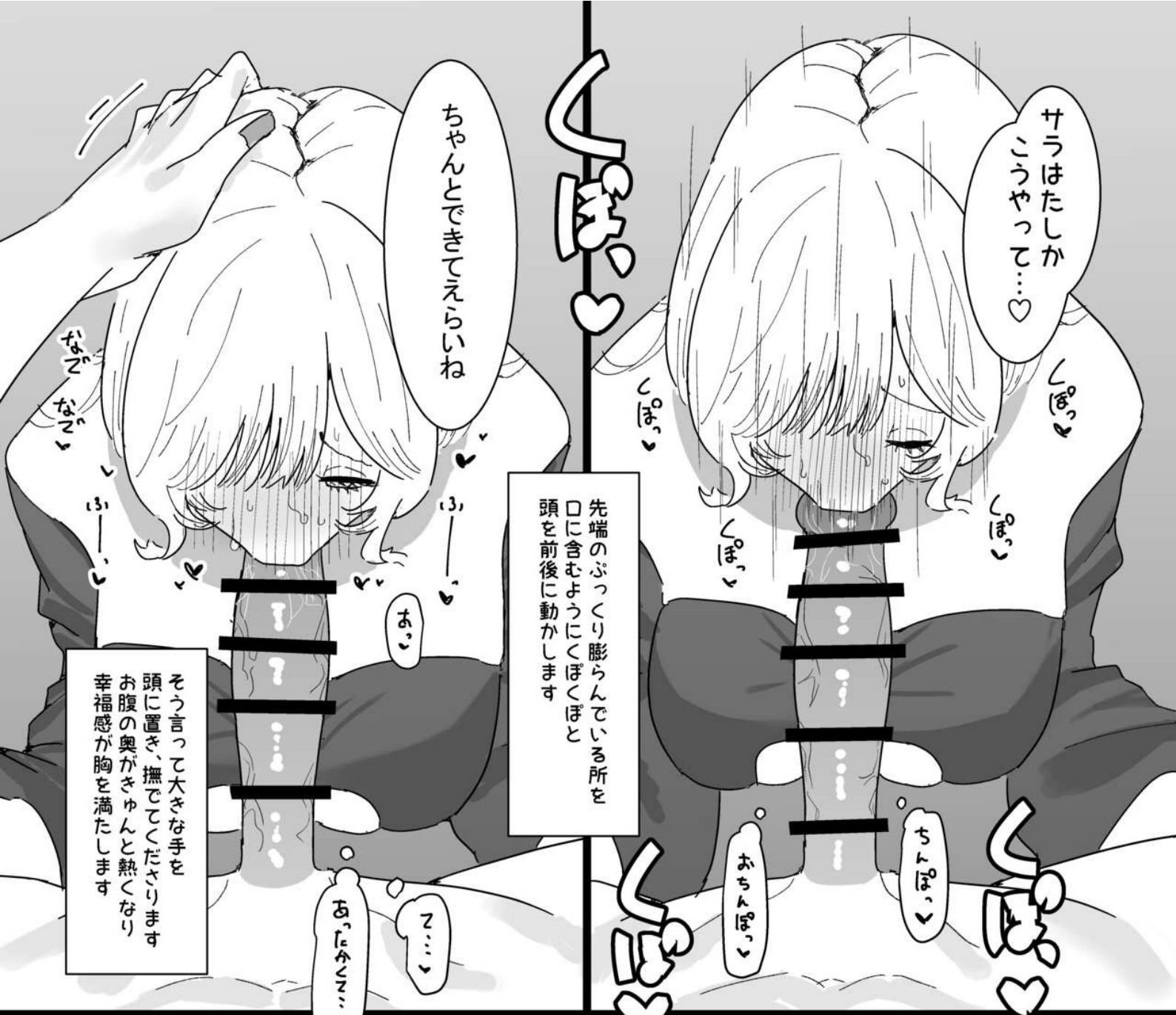
まさとさん……彼氏よりのも……♡
大きくて長いおちんぼ……♡
ずっと何も挿れてない
私の膣内いっぱい……♡

は♡

じゅあ……♡

すん♡……♡

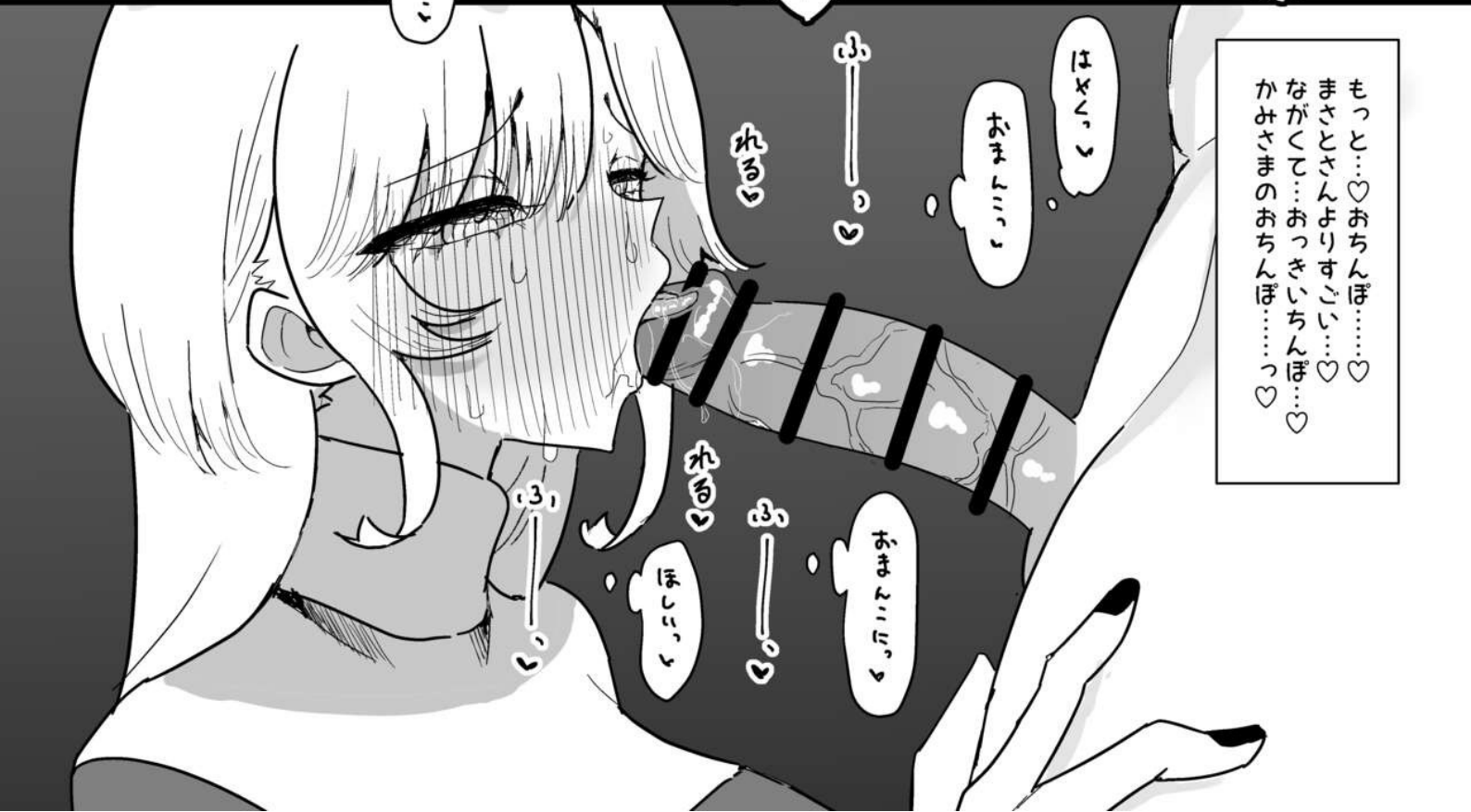
は♡



そう言って大きな手を頭に置き、撫でてくださりますお腹の奥がきゅんと熱くなり幸福感が胸を満たします

先端のぷっくり膨らんでいる所を口に含むようにくぽくぽと頭を前後に動かします

もっと...♡おちんぽ...♡
まささんよりすこい...♡
ながくて...おっさいちんぽ...♡
かみさまのおちんぽ...♡





射精するからね

しばらく系線様のおちんぼを
味わわせていたっていると
頭に手を添えゆっくりと
私の口の奥までおちんぼが
入ってくるように
私の頭を動かします



じゃあそろそろ...



まるでモノのように
けれど優しく私の頭を
射精のために扱います

ドクドクと口の中で
おちんぼが脈打ち精子が
のぼってきているのがわかります

くろっ♡しゃせーっ♡
いとくりさまの♡
せーしっ♡でるっ♡
はやく♡はやく♡
しゃせーっ♡してっ♡

おちんぼ♡

ぷんぷん♡

しゃせーっ♡

♡

♡

♡

♡

♡

きたっ♡せーしきたっ♡
おちんぽっ♡どぶどぶっ♡
わたしっ♡のっ♡くちっ♡
いっぽいっ♡のっ♡まっ♡♡

グン♡

グン♡

どぶっ♡

いくっ♡しやせーでっ♡らっ♡ん♡
おまんこっ♡こすれまっ♡
おちんぽほしいっ♡
しまっ♡こすれてっ♡らっ♡いっ♡

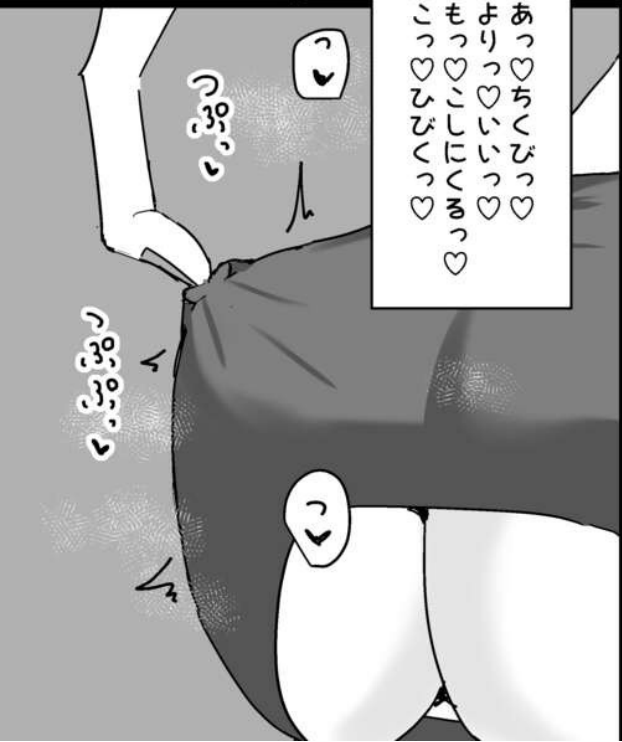
#1



精子の味、匂いとちくびの快感が私の中で紐づけられていきおまんこがしまります



あっ♡あっ♡ちくびっ♡
さっきより♡♡♡♡♡
せーしも♡♡♡♡♡
おまんこ♡♡♡♡♡



まだ飲んじやだめだよ

……っ♡

ちんぽ……♡

口の中に精子を残したままさっきより敏感になったちくびを指で触っていただきます

んんん……♡

すりすり

かっ♡んんん……♡

もじもじ

切切

んんん……♡

もじもじ

♡♡♡♡♡

気持ちよかった？

はっ♡
はっ……♡

せーし……♡

みま……♡

んん……♡

のむ……♡

はっ♡

んん……♡

んん……♡

ちくびでイクのと同時に
精子を飲み込むのを
許可していただき
全身で系線様を感じます

じゃあと四回ね

んん……♡

んん……♡

せーし……♡

はっ♡

のむ……♡

んん……♡

んん……♡

今日から系線様の精子を飲み
ちくびでイク事が
神託での日課になりました

また大きくなった
おちんぼがお尻に当たり
まだ終わりではない事を
悟ります

サライちゃん

ツカツカ

はあ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

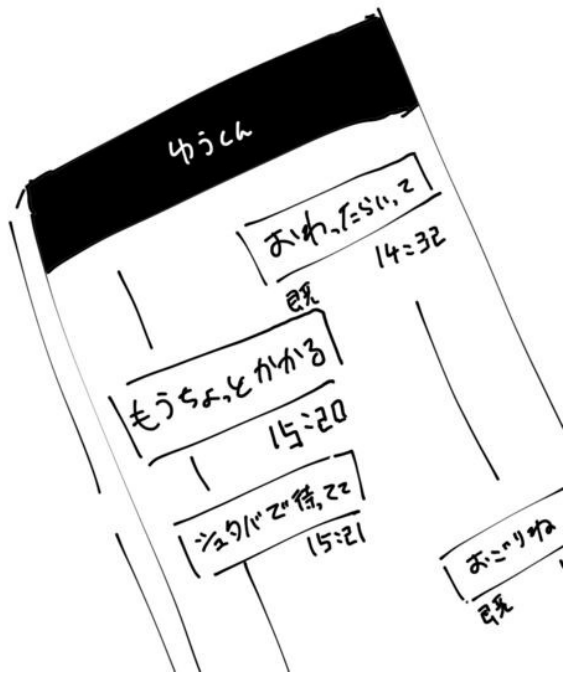
ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ

ツカツカ



あとがき

こんにちは、もみ子です！
『貴方が神様なのです2』の購入ありがとうございます～！
催眠シスターモノの第二話になってます！
前回も読むとより楽しめると思いますので
合わせてお楽しみください～～

今回はマツリちゃんが住み込む教会の
お友達サウちゃんが登場してます！
糸繰くんは先にサウちゃんに手を出していて
より焦らすためにマツリちゃんに見せつけてます

そして新たに開発する箇所が増えました
匂いは記憶への結びつきが強いと聞きます
糸繰くんの匂いを身体で覚えていくマツリちゃんが
どうなっていくか…お楽しみに～

サウちゃんのお話は『あなかみ』の前日譚になります
淫紋を付けられている彼女が
糸繰勇心くんこと"ゆうくん"との生活を
どう送ってるのか……いずれ描きたいな

それではもみ子でした～～
またお会いできれば嬉しいです！



以下を禁止しています
・無断転載、複製複写、転用